

施策番号	2504		
施策名	まちなのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備		
概要	にぎわいと潤いのある快適な市街地環境を創出し、魅力あるまちづくりを推進するため、土地区画整理事業などの面的整備手法により、安心・安全で快適な道路や公園などの公共施設を計画的、一体的に整備する。		
担当局・部室	建設局・都市整備部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関する主な分野別計画等			

施策の評価

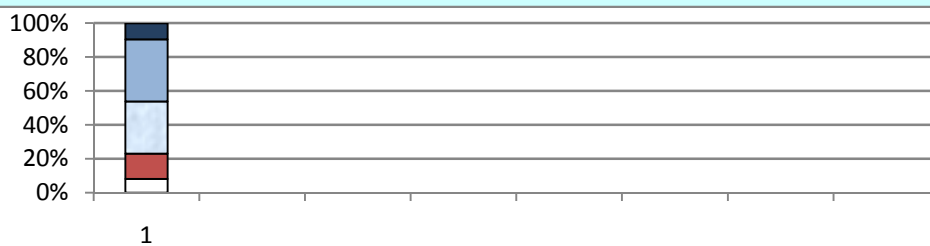
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 道路整備延長率(%)	-	-	73.1	74.0	73.9	112.5%	a	1.00
2 公園整備進捗率(%)	-	-	27.7	27.7	28.2	0.0%	e	0.50
3 仮換地指定率(%)	-	-	73.1	73.0	73.4	-33.3%	e	0.50
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							C	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	51 9.6%	195 36.6%	164 30.8%	79 14.8%	44 8.3%	533	c	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								C



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	c	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 都市基盤を整備することが重要であるため、客観指標評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価における「公園整備進捗率」及び「仮換地指定率」の各指標はe評価であったが、指標のウェイトが重い「道路整備延長率」はa評価であったため、客観指標総合評価はC評価となった。 ・客観指標2について、公園整備は事業の進捗に合わせて整備するものであり、平成22年度は整備がなかったため、e評価となった。 ・客観指標3について、事業中の地区にて事業計画の見直しを行い、数値が前年より0.1減少したため、e評価となった。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	組合等土地地区画整理事業	353,394	620,502	-	建設局
2	洛北第二地区土地地区画整理事業	76,399	137,076	-	建設局
3	伏見西部第二地区土地地区画整理事業(水路・H20～)	9,868	8,063	-	建設局
4	二条駅地区土地地区画整理事業	47,841	71,052	-	建設局
5	太秦東部地区土地地区画整理事業	27,632	-	-	建設局
6	竹田地区土地地区画整理事業	65,778	120,633	-	建設局
7	伏見西部第三地区土地地区画整理事業	102,208	199,595	-	建設局
8	伏見西部第四地区土地地区画整理事業	848,385	715,935	-	建設局
9	伏見西部第五地区土地地区画整理事業	226,153	169,327	-	建設局
10	上烏羽南部地区土地地区画整理事業	145,268	166,839	-	建設局
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・客観指標評価の各指標について、着実な進捗を図るとともに、市民の方にとって魅力あるまちとなるよう、道路築造や公園用地造成など、土地地区画整理事業の取組を推進していく。

施策名	2504	まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備
-----	------	-------------------------

指標名	道路整備延長率(%)
-----	------------

担当課	市街地整備課	連絡先	213-3537
-----	--------	-----	----------

1 指標の説明
土地区画整理事業による道路整備の延長率

2 指標の意味
「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業によるバランスのよい道路整備の進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等
算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における道路整備済延長（累計）を計画道路延長で割った率
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	73.1	74.0	0.9ポイント増	73.9	(中長期目標数値－前回数値)／中長期目標年次までの残年数＋前回数値	112.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		81.8	32年度		

根拠：平成32年度末までの目標とする道路整備済延長をもとに算出

5 評価基準
単年度の目標値に対する達成度が、
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明
道路整備の延長率を指標として、各年度での最新数値と目標値の前回数値からの伸び分を率化し、これが80%以上となる場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。
※達成度＝(最新数値－前回数値)／(目標値－前回数値)×100

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	公園整備進捗率(%)
-----	------------

担当課	市街地整備課	連絡先	213-3537
-----	--------	-----	----------

1 指標の説明
土地区画整理事業による公園整備の面積率

2 指標の意味
「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業によるバランスのよい公園整備の進み具合を示す指標

3 算出方法・出典等
算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における公園用地造成完了面積（累計）を計画公園面積で割った率
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	27.7	27.7	増減なし	28.2	(中長期目標数値－前回数値)／前回数値計測時点での残年数＋前回数値	0.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		33.3	32年度		

根拠：平成32年度末までの目標とする公園用地造成完了面積をもとに算出

5 評価基準
単年度の目標値に対する達成度が、
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明
公園整備の面積率を指標として、各年度での最新数値と目標値の前回数値からの伸び分を率化し、これが80%以上となる場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。
※達成度＝(最新数値－前回数値)／(目標値－前回数値)×100

7 評価結果

		23
-	-	e

施策名	2504	まちなぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備				
指標名	仮換地指定率（％）					
担当課	市街地整備課		連絡先	213-3537		
1 指標の説明						
土地区画整理事業による仮換地の指定の面積率 (仮換地とは、事業途中に、事業計画に照らして従前の個々の宅地を再配置すること。)						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
「魅力ある都市空間の形成」に向け、土地区画整理事業による良質な宅地供給の進み具合を示す指標			算出方法：本市の施行中土地区画整理事業地区において、各年度における仮換地指定面積（累計）を保留地を除く宅地面積で割った率 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値		
	73.1	73.0		数値	根拠	達成度
数値	73.1	73.0	0.1ポイント減	73.4	(中長期目標数値－前回数値)／前回数値計測時点での残年数＋前回数値	-33.3%
	全国順位	中長期目標			備考	最新数値が前回数値より0.1%減少しているのは、事業中の地区で事業見直しが行われたためである。
		数値	目標年次	達成度		
数値		76.1	32年度		平成32年度末までの目標とする仮換地指定面積をもとに算出	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
単年度の目標値に対する達成度が、 a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		仮換地の指定の面積率を指標として、各年度での最新数値と目標値の前回数値からの伸び分を率化し、これが80%以上となる場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。 ※達成度＝(最新数値－前回数値)／(目標値－前回数値)×100				23
				-	-	e